

Rotary Club of

国際ロータリー第2570地区
川越ロータリークラブ会報vol. **41**

会員数	103名	免除出席者	2名	正会員出席者	56名	出席者	58名	早退	2名	出席率	58.59%
-----	------	-------	----	--------	-----	-----	-----	----	----	-----	--------

プログラム

点鐘（12:30）／ロータリーソング（それでこそロータリー・四つのテスト）／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘（13:30）
＜司会：島村拓史 SAA＞

会長の時間

2022-23年度 会長 石井 成人

＜卓話講師紹介＞

COEDO KAWAGOE FC

代表 有田 和生（ありたかずなり）様

キャプテン 北原 毅之（きたはらたかひさ）様

＜会長挨拶＞

川越の街なかには、観光客で溢れています。なぜ川越に観光客が来るのか、それは蔵造りの街並み、時の鐘、菓子屋横丁、神社仏閣等々の観光資源がたくさんあり、東京からも近いという条件、そしてその資源をより良い方向へ格上げしているからだだと思います。馬場弘さんたちの「蔵の会」が蔵造りの整備をおこない、電線地中化や、歩道の整備、氷川神社なども様々な企画や工夫を重ねて、人が集まるように努力をした結果だと考えています。その結果、テレビをはじめ様々なメディアにも取り上げられ、それでまた、人が増えるという好循環となっています。今や、日本中からお客様が訪れ、コロナ規制緩和から外国人観光客も増えています。

お客様が喜ぶようなことをすれば、自ずと他のお客様が来るのは道理です。少しニュアンスは違いますが、論語の中で楚の国の長官が、孔子に「政（まつりごと）をするにはどうしたらいいのか」と質問をした。孔子は「近き者喜び、遠き者来る」近くの人が喜んで、その喜んで聞いているのを聞き、慕って遠くの人がやって来る。そういう政治をするのが良いと言っています。これは、政治だけではなく、何にでも通じるものだと思います。川越の観光も様々な工夫をして成功し、それが話題となって全国から、そして海外から多くの方が訪れるようになりました。

振り返って、私たちロータリークラブも、様々な工夫をして皆様に喜んでいただき、そしてその喜びを聞いて新たなメンバーが入ってくれるように、努力をしなければならぬと思っています。頑張らしましょう。

本日の卓話は、青少年奉仕部門委員会が担当で、

COEDO KAWAGOE FCの有田代表、北原キャプテンにお話していただきます。COEDO KAWAGOE FCはサッカーチームですが、サッカーを通して地域社会の発展に貢献をしています。私はサッカーには、興味が無いから関係無いと思わずに、地域の繋がり（ネットワーク）を地道に広げ、幅広い年齢層の方々の協力をいただいています。青少年の育成や、選手の皆さんも、小さな企業への応援もしていただいています。如何せん川越には、スタジアムや専用の練習場もありません。是非とも、皆さんのお知恵を拝借して、川越からJリーグチームを出したいと思っています。ベペの地下一階の、オープンスペースで、COEDO KAWAGOE FCの展示を行っています。宜しければ、お立ち寄りください。

幹事報告

2022-23年度 幹事 野溝 守



- ・配布物：会報、村田ガバナーからのお知らせ、パストガバナー会議からのお知らせ、ロータリー手帳（購入者）、ガバナー月信3月号（地区HPよりご確認下さい）
- ・地区事務所勤務状況
- ・原会員より、結婚記念日お祝い御礼

委員長報告**○親睦委員会 久保田誠委員**

今月のお祝いを発表します。今年度のお祝いの品はご自宅に郵送でお届けいたします。

■会員誕生日のお祝い（敬称略）

立原雅夫、小原祥三郎、藤倉省一、鈴木健二、山田哲也、小峰利久

■配偶者のお誕生祝い（敬称略）

小杉國武・保子、小原祥三郎・恵子、橋本定寛・浩代、藤田龍一・真美、廣澤光昭・恵美子、山口滝太・聖子、蓼沼光夫・ひろみ、中田庸司・美有紀、
■結婚記念のお祝い（敬称略）

原 敏成、高口邦輔、小高 章、長谷川均、中野英幸、吉澤徳安、京野弘一、五十嵐福洋、芳野忠司、三田恒次、

○親睦委員会 小林勇次郎委員長

先週の18日木曜日に鳩山カントリークラブにて、6組、24名の参加者で親睦ゴルフを行いました。皆様の日頃の行いが良かったのか、とても天気も良く、真夏日という30度を越えのとても暖かい中、無事に誰一人倒れること

なくゴルフを終えることができました。

優勝したのは、珍しく、同グロス同ハンデ同ネットでの差で、八木会員が見事優勝しました。会長をはじめ、たくさんの方々からご奉仕を頂き、全員に豪華商品が行き届きました。皆様ご協力ありがとうございました。親睦委員会として、最後のイベントを無事に終えることができました。

委員の皆様のご協力、また会員の皆様の温かい広い心で見守って頂き、一年間ありがとうございました。

次週卓話紹介

戦略計画委員会より、地区の現状について

○戦略計画委員会 吉澤徳安委員長

本日配布された文書にある地区の現状について、地区ガバナー補佐・パストガバナーのお二方からお話をお伺いさせていただきます。また、2回開催した戦略計画委員会の内容についてもご報告させていただきます。

ニコニコボックス**○ニコニコボックス委員会 堀尾泰崇委員**

- COEDO KAWAGOE FC 有田和生代表、北原キャプテン、本日の卓話よろしくお願ひ致します。〈会長、幹事〉
- COEDO KAWAGOE FC 代表有田和生様、キャプテン北原毅之様、本日は卓話よろしくお願ひ致します。楽しみにしております。〈高橋（哲）、関谷、八木、栗原、西澤、鈴木（壮）、若林、石崎、片山、岩堀、相原、小高、西川、小城、久保田、島村、住谷、金剛、齊藤（智）、坂口、山田（和）、山崎〉
- 親睦ゴルフで優勝させていただきました。ありがとうございます。〈八木〉
- 八木さん親睦ゴルフ優勝おめでとうございます。私は優勝できませんでしたが、メンバーにも恵まれ楽しくラウンドできました。〈久保田、神谷〉
- 先日の親睦ゴルフで7位飛び賞で、東京ドーム巨人戦のペアチケットでした。ありがとうございます。〈栗原〉
- 5月21日てらこや事業無事に開催されました。ご支援ありがとうございます。次回は6月25日です。〈金剛〉
- 早退2名（敬称略）

合計 37,000円

出席報告**○出席委員会 近藤武弘委員****卓話**

○卓話講師：

COEDO KAWAGOE FC

代表 有田 和生（ありたかずなり）様

キャプテン 北原 毅之（きたはらたかひさ）様

＜青少年奉仕部門：高橋哲彦委員長＞

本日はCOEDO KAWAGOE FC代表の有田様とキャプテンの北原様にお越し頂き、COEDO KAWAGOE FCがどのような活動を通して青少年の育成や川越にどのような形で貢献されているのかについてお話を頂きます。

＜有田代表＞

COEDO KAWAGOE FC株式会社、代表取締役の有田と申します。本日は、川越ロータリークラブの例会にお招き頂き、誠にありがとうございます。

（COEDO KAWAGOE FCのプロモーションビデオ視聴）

COEDO KAWAGOE FCは2020年の7月に設立、現在法人化して3期目、川越をホームタウンとし、川越か



ら初のJリーグ参入を目指しているサッカークラブです。

私たちは、「～Exceed The Limit～フットボールクラブの限界を超えていけ」というビジョンを掲げています。COEDO KAWAGOE FCが大きな壁を乗り越えていくことで、その姿を見て皆様や若い方々も含めて頑張ろうと言ってもらえるようなクラブを目指してこのビジョンを掲げております。またCOEDO KAWAGOE FCは「フットボールクラブを通じて、川越に夢と感動を創出し続け、100年続くクラブへ」というミッション・存在意義を持って活動しています。このミッションを成し遂げるために、COEDO KAWAGOE FCは主に3つの軸で活動しています。

1つ目として、サッカーで川越から初のJリーグ参入を目指してまいります。

2つ目は事業において新たな収益の柱作りに挑戦したいと思っています。

3つ目は、地域貢献活動も同軸に頑張っ参ります。

サッカーの長期的な目標はJリーグ加盟承認で、COEDO KAWAGOE FCは現在、埼玉県リーグ一部、JリーグJ1から数えるとJ7相当、最短4年後にJリーグのJ3に挑戦できるという位置です。Jリーグ加盟承認には、ただリーグを勝ち上がれば良いという話ではなく、加盟承認基準を達成した上で、平均観客数が1試合あたり2000人以上など、諸々の厳しい条件を乗り越えた上で、JFL2位以内の最終順位になり、J3の2チームとの入れ替え戦に勝つ、という相当大変な道のりです。

また、短期的な目標は天皇杯であり、サッカーという側面から川越の街にスポットを当てて頂く機会を創出したいと思っています。

またコラボサッカー教室や、地元の祭りにも積極的に参加させて頂いており、お子さんのお家族の方のお話しでは、今まで学校と家庭の往復だったのが、イベントへの参加により、いわゆるサードプレイスのような場所になりありがたいとのことでした。

また、地元の企業の塾の企業様とコラボして、英語でサッカーというイベントを企画させて頂き、苦手意識がある勉強を、スポーツから一緒に語学を学び、興味や好奇心を向上させることも実施いたしました。

市政100周年を迎えた川越で、先人の方々のおかげで私たちは現在事業をできていると思っております。

そういった意味でも、次の100年に向かってスポーツの産業をCOEDO KAWAGOE FCがもっと大きくしたい、地域貢献活動もしてまいりたいと思っておりますので、引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。

＜北原キャプテン＞

今は埼玉県1部の2位ですが、一つのミスが試合を決定づけてしまうような緊張感がありますが、最近では若手選手の意識が変わり、戦う集団になってきたと、キャプテンとして感じています。残りの前期リーグ3試合、試合を見て何かを感じて頂ければと思います。今後ともぜひよろしくお願いいたします。